



車いす利用者と車両メーカーの 実車体験を通じたバリアフリーチェック

～自分達も体験することでお互いを理解する～

NPO法人豊田ハンディキャブの会 野下浩平 / 運転ボランティア 中島幹夫 (トヨタ自動車(株)MSボデー設計部)

NPO法人豊田ハンディキャブの会

- ・当事者主体のNPO法人、28年目
- ・運転ボランティアさんと一緒に車いす利用者に対して送迎サービスを実施
- ・年間3,000件の利用実績

基礎情報

- ・運転ボランティアさんを常に探している。
- ・日々の活動の中、福祉車両に“使いにくさ” “乗りにくさ”を感じている。

課題

トヨタ自動車(株) MSボデー設計部

- ・トヨタの中型車 (Mid-size) のボデーを設計
- ・デザイナーと一緒に車の形を決める
～市場での課題解決まで幅広く対応
- ・「もっといいクルマ」を作りたい!

- ・車の利用者とお話しできる機会少ない。
- ・“クルマのプロ”である事を生かした社会貢献が出来ないだろうか?

福祉車両・運転ボランティア体験会

参加者

送迎利用者、運転ボランティア
トヨタ自動車 MS、各カンパニー
公共交通事業者、タクシー事業者、
市民活動団体、豊田市役所関係課

実施日

- ① 2017年4月8日(本会事務所)
- ② 11月12日(矢作川河原)
- ③ 2018年6月10日(トヨタ技術本館)
- ④ 11月18日(豊田市駅前広場)
- ⑤ 2019年6月16日(トヨタ技術本館)

体験車両

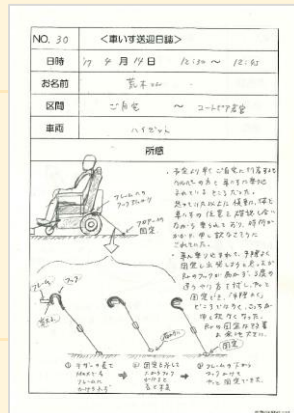
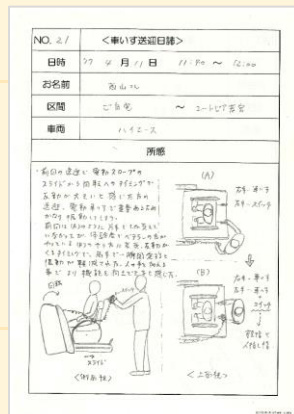
- ・リフト⇒ハイエース
- ・スロープ⇒シエンタ、ハイゼットノア、JPNタクシー
- ・座席回転⇒プリウス

体験内容

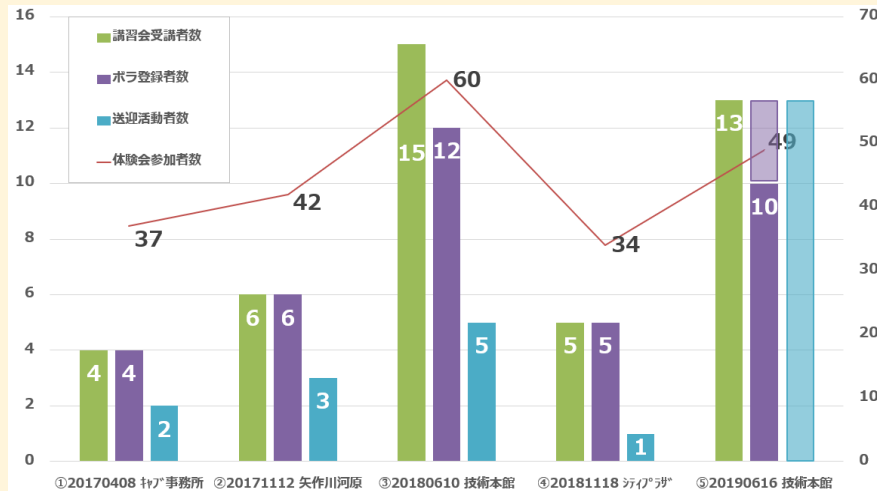
- ・車いす利用者との交流
- ・車いすに座り乗降体験
- ・車いすの方を押して乗降体験
- ・高齢者疑似体験セットを着用し、片まひ、加齢性難聴、白内障で乗車

車両提供企業

- ・ハートフルプラザ名古屋
- ・名古屋トヨペット株式会社
- ・ネットトヨタ中部株式会社



効果とまとめ



クルマの気付き

- 家族や同乗者が近いと安心できる
- 車高が下がると乗りやすく、乗せやすい
- ×リフトの固定フックが取り出しづらい
- ×リフト動作変化による振動の大きさ
- ×使用想定者と室内寸法のミスマッチ
- ×シートベルト位置があわない
- ×シートへの乗換えがスペース的に厳しい
- ×操作手順の多さと煩雑さ

想いの共有

- ・車いす利用者と乗降させる方の**両方の視点**からの“使いやすさ”を考える必要性がある
- ・ウェルキャブもUDタクシーも、**同じユーザー**を想定していたが実はギャップがある
- ・機能は車いす利用者が**必要とするものを付ける**ことが大事である

効果

- ・2018年秋から**土日の送迎をお断り件数が少なくなった**(17年10月-3月19件→3件)
- ・車いす利用者とお話した経験や実体験により、**車いす利用者のことを想像しながら、設計**を行う様になった

今後の課題

- ・様々な**車いす利用者が参加しやすい環境**を作る
- ・横のつながりをひろげる

